

八戸DIMEと練習爽快

3人制バスケット 小学生教室開く

八戸市を拠点とするバスケットボール3人制のプロチーム「八戸DIME(タイム)」は11日、同市のYSアリーナ八戸で、今季初となる小学生向けのバスケットスクールを開いた。新型コロナウイルスの感染拡大により開催が延期となっていたが、選手2人と1〜6年生の約60人が参加し、楽しく汗を流した。

八戸タイムは昨年从今年2月までプレスクールの形で準備してきたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、本格的なスクールへの移行を見合わせていた。

この日は北向由樹選手(おいらせ町出身)と寺嶋恭之介選手(弘前市出身)、チームと連携協定を結んでいる八戸学院大の学生がコーチとして参加。マスク姿の子どもたちは基本的なボールハンドリングやドリブル、レイアップシュートの打ち方を練習した。

城北小2年の吉田莉緒さん(7)は「久しぶりのスクールの楽しみにしていた。プロの選手の手の動きが速くてすごかった」と話した。北向選手は「正式な開校に時間がかかったが、その分準備をしっかりとできた。地域と一体となって競技者としてのスキルや心構えを学べる場にしたい」と意気込みを語った。(大久保拓地)